

第6回全道女子ユース(U-15)フットサル大会 兼

第5回全日本女子ユース(U-15)フットサル大会北海道予選 報告書

大会日程：平成26年11月29日(土)・30日(日)

開催会場：湿原の風アリーナ釧路

対象者：根室ラバーナ(U-15)

参加者：メンバー登録10名(内欠場2名) 監督・コーチ登録3名(内3名同行)

試合：29日(土) 第1次ラウンド 第3位通過

第一試合 対 東白石あかつきFC 2 - 3 敗戦

第二試合 対 稚内ステラマーレ 1 - 3 敗戦

30日(日) フェニックストーナメント 3位グループ戦

第一試合 対 札幌信濃U-15 4 - 4 引分け

第二試合 対 とかちFCなでしこ Jr. 2 - 1 勝利

所感：フットサルのチーム練習は1回。フットサルのプレイと重要な部分の「時間とスペース」の使い方が思うようにならず、相手に押し切られる形で負けてしまったのは、非常に残念。

でも、試合ごとに自分たちのスキルを活かして何ができるか、何を考えるかを掴み取り、試合の中でプレイの質やフットサルスキルを向上させていったのではないかと感じた。

負けると当然気分的に落ちる部分があったが、ウォーミングアップ中もチームの雰囲気はよく、次の試合には気持ちをしっかりと切り替えて臨んでいた。やはり、もう少しチームとして練習する時間を確保する必要があるのではないかと考えるが、選手の都合や指導者の都合などを考えるとなかなか簡単ではないチーム事情もあり悩ましいところか。

最後の試合で勝利したので、大会を終えた気分としては悪くなかったのではないかと思います。

試合詳細：

◇東白石あかつき FC 戦 2 - 3 敗戦

初戦、ダイヤモンド型(3-1)のフォーメーションで展開。一進一退の攻防のなかで、残り時間わずかでスキを突かれ失点。2 - 3 で終了。

全体的にプレイに深みを作れず、カウンターチャンスシーンでもスペース活用や味方のポジション取りが厳しい状況となっていた。

◇稚内ステラマーレ 戦 1 - 3 敗戦

ボックス型(2-2)のフォーメーションに戦術変更。痛恨のウォンゴールとなってしまったが、取り返し同点。最終的には終盤に押し切られ、1 - 3 の敗戦。

ボックス型で守備、攻撃にバランスが取れるようになった。しかしキックインプレイでうまくボールが繋がらないケースや、後半の疲れから見えるカウンター対応が厳しい状況にあった。

◇札幌信濃 U-15 戦 4 - 4 引分け

前半2点先制して有利な展開に見えたが、相手エースを起点としたプレイでお互い得点を積み重ねながら、最終的に追いつかれて同点で、引分け。

相手チームのフットサルの戦術や小さなスペースを使うプレイやアイデアに守備を崩される状況が多くみられた。

◇とがち FC なでしこ Jr. 戦 2 - 1 勝利

先制点を取り、ゴールが見えたらシュートというプレイスタイルとシュート精度に助けられた感じとなり、2 - 1 で勝利。終盤の失点は疲れと集中力が切れた瞬間だったのかもしれない。

相手は守備の組織づくりや攻撃への切り替えも早かったが、こちらにも4戦目ということもあり、思い切りの良さやチャンス、ここぞというプレイが活きたゲームだった。

まとめ : 今大会も、昨年同様となってしまうがチームとして、フットサルとして練習不足が結果として表れてしまった感が否めないです。

個人スキルやパフォーマンスは、他のチームの選手に負けていない部分も多くあり、フットサルで重要な「時間とスペース」使い方のスキル獲得が小さなスペースでのチャンス作りに繋がり、サッカーで活かされて行くのではないかと思います。

今大会は、試合ごとに自分たちなりに考え、楽しんでプレイできていたのが印象的。次回もこういった試合や大会出場を目指したい。

以上

根室地区女子委員会 川口孝行